

保 健 管 理 年 報

第 37 号

(令和 6 年度)



神 戸 女 子 大 学
神戸女子短期大学

は じ め に

このたび、神戸女子大学及び神戸女子短期大学の学生並びに教職員の健康管理・健康相談状況についてまとめましたので、保健管理年報第37号（令和6年度）として報告いたします。

令和6年は元旦の能登半島地震に始まり、度重なる自然災害や記録的猛暑、物価高騰など、社会全体が大きな変化や困難に直面した1年でした。また、新型コロナウイルス感染症が「5類」へ移行してから1年が経過し、学生生活は徐々に平常を取り戻しつつあります。一方、感染対策が個人の判断に委ねられるなかで、一人ひとりが体調管理の難しさを実感する年でもありました。さらに気候変動に伴う夏季の猛暑や気温差の大きい季節変動は心身への負担を強めており、本学保健室では日常的な健康観察や応急処置に加え、経口補水液の常備やAEDの管理など緊急時に備えた安全対策を着実に実施しています。変化する環境への適応力を高めるため、様々な対策は必要なことですが、学生一人ひとりが自分の体調や生活習慣に気付き、適切なセルフケアができるように支援することも重要であると考えています。

ここ数年のコロナ禍の影響もあり、学生のメンタルヘルスにおける課題は深刻化しています。令和6年の統計によると、全国の学生・生徒等の自殺者は前年から16人増加し、529人となり、統計開始以降過去最多となりました。特に女子学生の自殺者は増加傾向にあり、社会的な孤立や将来への不安が影響していると考えられます。大学生においては、メンタルヘルスに問題を抱える背景として、学業や就職活動、対人関係などのストレスが複合的に影響していると考えられます。これら精神的な不調は、日常生活への支障の少ないものから、長期化により、その後の社会生活能力に影響を与える重度の精神疾患の場合もあります。

現在の大学における保健業務では、治療やメンタルケアを受けながら学業に励む学生への支援が大きな割合を占めるようになっていきます。体調や心の状態に配慮しながら学び続ける学生のため、保健室だけでなく学内関係者との連携は学生生活を支える上で欠かせない重要な役割となります。学生の抱える心身の課題に迅速かつ適切に対応できるよう、学生相談室や学生支援センターとの連携により支援体制の充実を図っています。こうした支援を通じて、学生が自分らしく学び、自身の健康と向きあう時間に寄り添うことは、大学保健業務に携わる者として非常に意義深いものだと考えます。

今後も、関係教職員の皆様との連携をより一層強化し、学生並びに教職員へのよりきめ細かな支援に努めてまいりたいと思います。

関係者の皆様におかれましては、ご一読のうえ、ご指導ご鞭撻いただければ幸甚です。

令和7年10月

保健室長 信 國 誠

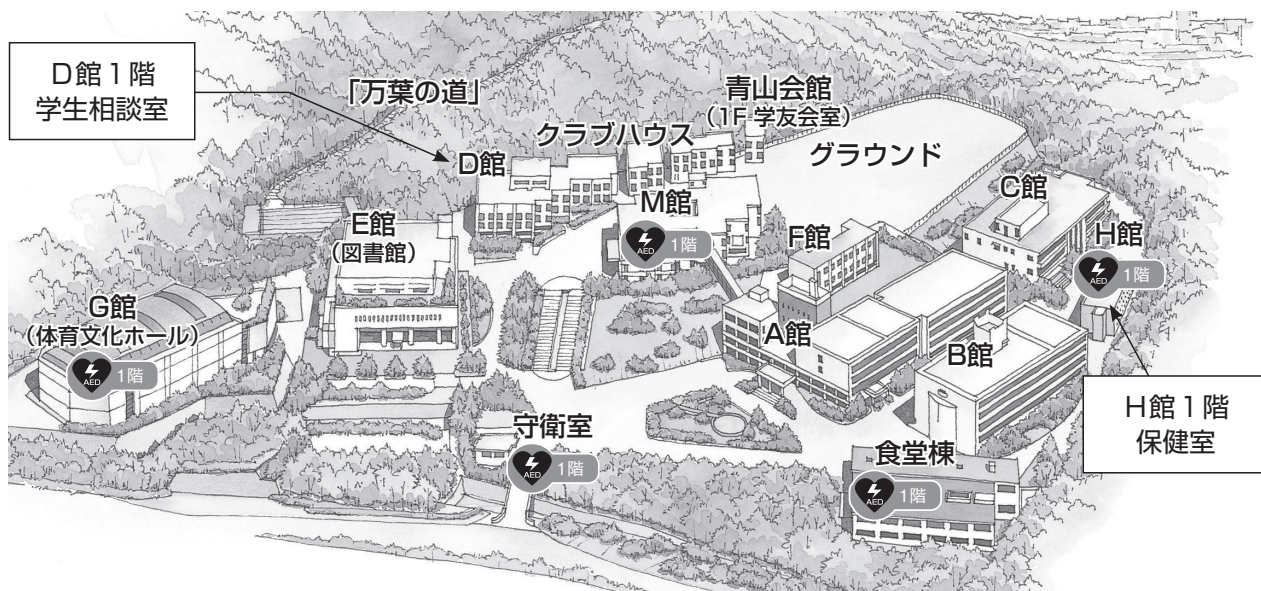
目 次

保健室・学生相談室・AED設置場所	1
令和6年度保健室年間主要業務及び活動	
【須磨キャンパス】	2
【ポートアイランドキャンパス】	3
I. 学生健康診断	
【大学】	4
【短期大学】	7
II. 教職員健康診断	
【須磨キャンパス】	9
【ポートアイランドキャンパス】	11
III. 特定健康診査	
【須磨キャンパス】	13
【ポートアイランドキャンパス】	14
IV. 特殊健康診断(学生含む)	
【須磨キャンパス】	15
【ポートアイランドキャンパス】	16
V. ストレスチェック	16
VI. 医師による健康相談	
【須磨キャンパス】	17
【ポートアイランドキャンパス】	17
VII. 保健室活動状況	
【須磨キャンパス】	18
【ポートアイランドキャンパス】	21
【須磨キャンパス 保健室活動のまとめ】	24
【ポートアイランドキャンパス 保健室活動のまとめ】	25
VIII. 学生相談室利用状況	26
関係規程	
神戸女子大学・神戸女子短期大学保健管理委員会規程	30

保健室・学生相談室・AED 設置場所

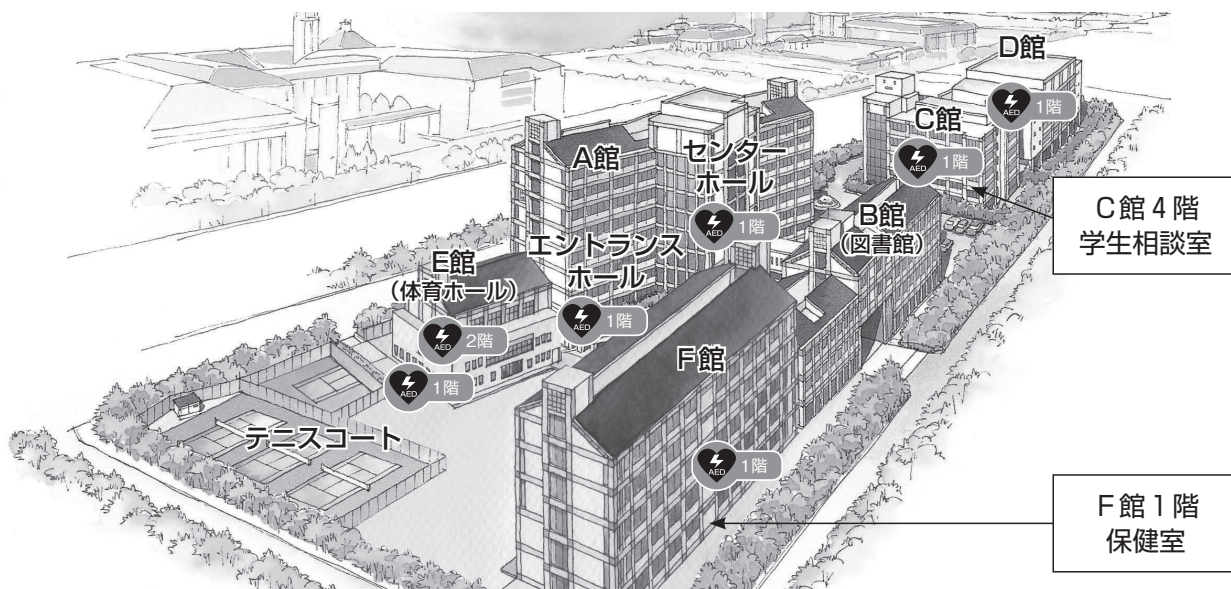
須磨キャンパス

(大学 文学部・家政学部・専攻科・大学院)



ポートアイランドキャンパス

(短期大学 大学 健康福祉学部・看護学部・心理学部・大学院)



 AED(自動体外式除細動器)

令和5年4月現在

令和6年度保健室年間主要業務及び活動 (須磨キャンパス)

月	業 務 内 容
4 月	学生健康診断（健診機関：兵庫県健康財団） 2日・・・文学部・家政学部 3回生・大学院生 3日・・・文学部・家政学部 2回生 4日・・・文学部・家政学部 1回生 5日・・・文学部・家政学部 4回生 学生健康診断事後措置（健康調査票による要指導者及び健診結果有所見者保健指導） K I S Sシステム（個人用W e bサイト）による健康診断結果個人通知 健康診断証明書発行開始 第1回学生支援センター（合同）運営委員会（15日） 第2回学生支援センター運営委員会（須磨）（17日）
5 月	新入生予防接種実施状況調査・麻しんワクチン未接種者への接種勧奨 学生健康診断事後措置 第3回学生支援センター運営委員会（須磨）（17日）
6 月	教職員健康診断案内・受診希望調査 非常勤教員への胸部X線検査受診希望調査 特殊健康診断（有機溶剤・特定化学物質・DNA実験従事者）受診調査 第4回学生支援センター運営委員会（須磨）（13日）
7 月	第1回保健管理委員会（11日） 夏季海外留学生渡航前健康教育（18日） 特殊健康診断（有機溶剤・特定化学物質・DNA実験従事者）対象教員への案内
8 月	学生支援研修会参加（1日） 教職員健康診断準備 全国大学保健管理協会研究集会近畿地方部会研究集会参加（30日）
9 月	キャンパスハラスメント防止研修参加（5日） ストレスチェック受検案内（12日） 教職員定期健康診断（健診機関：兵庫県健康財団）（12日） 教職員健康診断事後措置・特定健康診査結果事務 第2回学生支援センター（合同）運営委員会（17日） 第5回学生支援センター運営委員会（須磨）（25日）
10月	ストレスチェック受検開始（受検期間10月1日～10月31日） 全国大学保健管理協会研究集会参加（16～17日） 給食施設指導（21日）
11月	ストレスチェックデータ取り込み作業 特殊健康診断案内 保健管理年報第36号（令和5年度）発行（KISSシステムにより配信）大学HPに掲載（15日） ストレスチェック結果を個別通知（22日） 高ストレス該当者への相談対応 第6回学生支援センター運営委員会（須磨）（25日） 特定化学物質健康診断結果報告書及び有機溶剤等健康診断結果報告書（労働基準監督署へ提出）（27日） 防火防災訓練及び救命処置訓練実施（28日）
12月	定期健康診断結果報告書作成（労働基準監督署へ提出）（13日）
1 月	次年度学生健康診断準備 心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告書作成（労働基準監督署へ提出）（9日） 春季海外留学生渡航前健康教育（15日） 第7回学生支援センター調整会議（須磨）（31日）
2 月	第2回保健管理委員会開催（13日） ストレスチェック実施状況及び集団分析結果のまとめ作成 ストレスチェック集団分析に関する協議（26日）
3 月	第8回学生支援センター調整会議（須磨）（13日） 特定化学物質健康診断結果報告書及び有機溶剤等健康診断結果報告書（労働基準監督署へ提出）（17日） 学位記授与式救護（18日） 学生健康診断個人票の整理 教職員健康診断結果統計 定期健康診断結果報告書作成（労働基準監督署へ提出）（27日）

通常保健室業務

<定例>

- ・衛生委員会出席（毎月1回）
- ・学医による健康相談（毎月1回）
- ・精神科医師による精神保健相談（毎月1回）
- ・学生相談室との連絡会（毎月1回）

<随時>

- ・応急処置、健康相談、健康教育
- ・K I S Sシステム（個人用W e bサイト）による健康に関する情報提供
- ・A E D機器の保全管理
- ・地域医療機関との連携
- ・学生教育研究災害傷害保険に関する相談及び事務
- ・大学行事（オープンキャンパス、入試等）にともなう救護
- ・学内外行事などへの救急用品の準備
- ・感染症予防及び健康管理に関すること
- ・学校保健及び産業保健に関する研修会参加
- ・その他保健管理に関する事務・統計

令和6年度保健室年間主要業務及び活動 (ポートアイランドキャンパス)

月	業 務 内 容
4月	入学式救護(3日) 学生健康診断(健診機関:兵庫県健康財団) 3日・・・大学3回生・大学4回生 4日・・・短期大学2年次生・大学2回生・大学院生 5日・・・短期大学1年次生・大学1回生 学生健康診断事後措置(健康調査票による要指導者及び健診結果有所見者保健指導) K I S Sシステム(個人用Webサイト)による健康診断結果個人通知 健康診断証明書発行開始 第1回学生支援センター運営委員会(合同)(15日) 第1回学生支援センター運営委員会(PIC)(18日)
5月	新入生予防接種実施状況調査・麻しんワクチン未接種者への接種勧奨 学生健康診断事後措置 第2回学生支援センター運営委員会(PIC)(28日)
6月	教職員健康診断案内・受診希望調査 非常勤教員への胸部X線検査受診希望調査 特殊健康診断案内(有機溶剤・特定化学物質使用実績等に関わる受診調査) 第3回学生支援センター運営委員会(PIC)(19日)
7月	第1回保健管理委員会開催(17日) 障がい学生支援調整会議出席(21日) 特殊健康診断対象教員への案内
8月	障がい学生支援研修会参加(23日) 全国大学保健管理協会近畿地方部会研究集会参加(30日) 教職員健康診断準備
9月	キャンパスハラスメント防止研修参加(5日) ストレスチェック受検案内(12日) 教職員定期健康診断・特殊健康診断(健診機関:兵庫県健康財団)(12日) 第2回学生支援センター運営委員会(合同)(17日) 第4回学生支援センター運営委員会(PIC)(24日) 神戸市保健所へ結核予防費補助金申請 教職員健康診断事後措置・特定健康診査結果事務
10月	ストレスチェック受検開始(受検期間10月1日～10月31日) 第62回全国大学保健管理研究集会参加(16.17日)
11月	保健管理年報第36号(令和5年度)発行(K I S Sシステムにより配信)大学ホームページに掲載(15日) 第5回学生支援センター運営委員会(PIC)(20日) ストレスチェックデータ取り込み作業 ストレスチェック結果をメールにて個別通知(22日)高ストレス該当者への相談対応開始 防火防災訓練及び救命処置訓練実施(28日) 特殊健康診断対象教員への案内
12月	特定化学物質健康診断結果報告書及び有機溶剤等健康診断結果報告書作成(労働基準監督署へ提出)(13日) 全国大学保健管理協会近畿地方部会保健師看護師班兵庫地区研修会参加(5日) ストレスチェック集団分析実施
1月	次年度学生健康診断準備 定期健康診断結果報告書作成(労働基準監督署へ提出)(8日) ストレスチェックによる医師の面接指導(16日) 特殊健康診断(健診機関:兵庫県健康財団)(1月22日～1月27日) 第6回学生支援センター運営委員会(PIC)(28日)
2月	心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告書作成(労働基準監督署へ提出)(12日) ストレスチェック実施状況及び集団分析結果のまとめ作成 ストレスチェック結果に関する協議(26日)
3月	令和7年度学生健康診断準備 第2回保健管理委員会開催(6日) 特定化学物質健康診断結果報告書及び有機溶剤等健康診断結果報告書作成(労働基準監督署へ提出)(12日) 第7回学生支援センター運営委員会(PIC)(14日) 学位記授与式救護(18日) 教職員健康診断結果統計 学生健康診断個人票の整理

通常保健室業務

<定例>

- ・衛生委員会出席(毎月1回)
- ・学医による健康相談(毎月1回)
- ・精神科医師による精神保健相談(毎月1回)
- ・学生相談室との連絡会(毎月1回)

<随時>

- ・応急処置、健康相談、健康教育
- ・K I S Sシステム(個人用Webサイト)による健康に関する情報提供
- ・A E D機器の保全管理
- ・地域医療機関との連携
- ・学生教育研究災害傷害保険等に関する相談及び事務
- ・大学行事(オープンキャンパス、入試等)にともなう救護
- ・学内外行事などへの救急用品の準備
- ・感染症予防及び健康管理に関すること
- ・学校保健及び産業保健に関する研修会参加
- ・その他保健管理に関する事務・統計

I. 学生健康診断

健診項目

①健康調査 ②内科検診 ③身体計測 ④視力測定 ⑤胸部X線検査

〔大 学〕

1. 受診状況

学部

受診者 対象者	受診率 %
------------	----------

学部・学科		学 年		1 回 生		2 回 生		3 回 生		4 回 生		合 計	
文 学 部	日本語日本文学科	29	100.0	39	97.5	41	97.6	51	94.4	160	97.0		
		29		40		42		54		165			
	英語英米文学科	15	93.8	11	64.7	27	87.1	40	88.9	93	85.3		
		16		17		31		45		109			
	国際教養学科	10	100.0	22	95.7	16	94.1	50	86.2	98	90.7		
		10		23		17		58		108			
	史学科	19	100.0	32	100.0	36	87.8	40	83.3	127	90.7		
		19		32		41		48		140			
	教育学科	73	100.0	72	98.6	110	99.1	121	100.0	376	99.5		
		73		73		111		121		378			
家 政 学 部	家政学科	33	100.0	52	88.1	43	89.6	87	92.6	215	91.9		
		33		59		48		94		234			
	管理栄養士養成課程	105	100.0	126	98.4	141	96.6	136	98.6	508	98.3		
		105		128		146		138		517			
健 康 福 祉 学 部	社会福祉学科	38	100.0	51	98.1	60	100.0	52	100.0	201	99.5		
		38		52		60		52		202			
	健康スポーツ栄養学科	64	100.0	70	100.0	62	100.0	50	100.0	246	100.0		
		64		70		62		50		246			
看 護 学 部	看護学科	96	100.0	109	100.0	78	98.7	88	97.8	371	99.2		
		96		109		79		90		374			
心 理 学 部	心理学科	83	100.0	97	98.0	75	98.7			255	98.8		
		83		99		76				258			
合 計		565	99.8	681	92.8	689	96.6	715	95.3	2650	97.0		
		566		734		713		750		2731			

大学院・専攻科

博士前期 1 年		博士前期 2 年		博士後期 1 年		博士後期 2 年		博士後期 3 年		合 計	
8	72.7	17	54.8	1	25.0	2	33.3	6	40.0	34	50.7
11		31		4		6		15		67	

2. 有所見者内訳

要精密検査

所 見	合 計	1 回生	2 回生	3 回生	4 回生	大学院生 専攻科生
甲 状 腺 疾 患 ・ 疑	1		1			
心 音 異 常 ・ 心 雑 音	2		1		1	
不 整 脈						
胸 部 X 線 検 査						
計	3		2		1	

要観察・要注意

所 見	合 計	1 回生	2 回生	3 回生	4 回生	大学院生 専攻科生
甲 状 腺 疾 患 ・ 疑	9	2	5	2		
心 音 異 常 ・ 心 雑 音	6	1	3	1		1
皮 膚 病 変	1		1			
不 整 脈	4		4			
貧 血	1		1			
呼 吸 音 異 常	1			1		
リ ン パ 節 腫 大	1				1	
整 形 外 科 疾 患 ・ 疑	1		1			
計	24	3	15	4	1	1

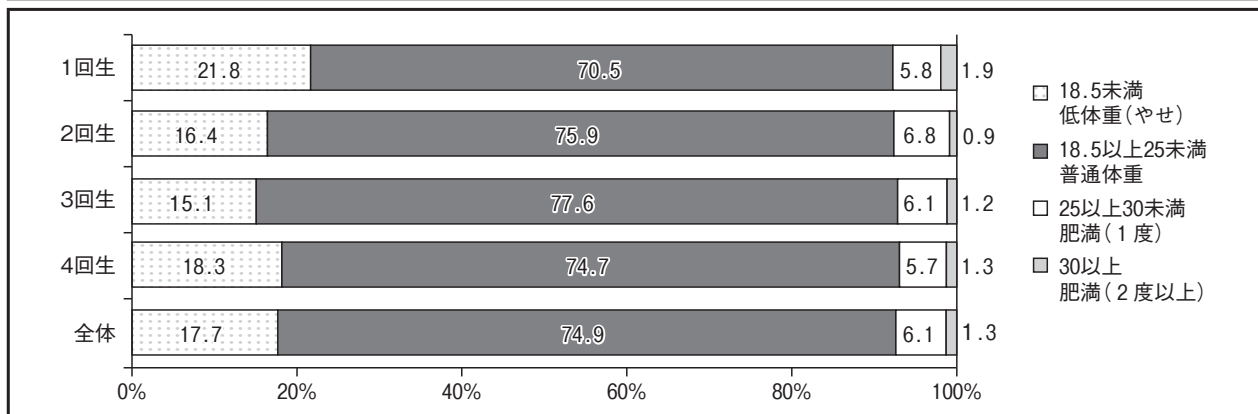
継続加療

所 見	合 計	1 回生	2 回生	3 回生	4 回生	大学院生 専攻科生
甲 状 腺 疾 患	7		2	3	2	
心 音 異 常 ・ 心 雑 音	4	1	2	1		
皮 膚 病 変	2			2		
そ の 他 所 見	11		3	4	3	1
計	24	1	7	10	5	1

3. BMIによるやせと肥満

(日本肥満学会による判定)

学 年	受診者	18.5未満 低体重(やせ)		18.5以上25未満 普通体重		25以上30未満 肥満(1度)		30以上 肥満(2度以上)	
		人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)
1 回 生	565	123	21.8	398	70.5	33	5.8	11	1.9
2 回 生	681	112	16.4	517	75.9	46	6.8	6	0.9
3 回 生	689	104	15.1	535	77.6	42	6.1	8	1.2
4 回 生	715	131	18.3	534	74.7	41	5.7	9	1.3
合 計	2650	470	17.7	1984	74.9	162	6.1	34	1.3



4. 麻疹に関する健康調査結果(新入生)

件数
%

	日 本 語 日本文学科	英 語 英米文学科	国 際 教養学科	史 学 科	教育学科	家政学科	管理栄養士 養成課程	社会福祉 学 科	健康スポーツ 栄養学科	看護学科	心理学科	合計
学生数	29	16	9	19	73	31	104	38	64	96	83	562
罹患・接種歴の 確認ができたもの	罹患						1					1
							0.2					0.2
	罹患かつ 1回接種						2					2
							0.4					0.4
	2回以上 接 種	25	14	9	17	66	94	37	63	96	82	531
		86.2	87.5	100.0	89.4	90.4	90.4	97.4	98.4	100.0	98.8	94.5
	1回接種	2	1		1	7	5	1			1	20
抗体(+)		6.9	6.3		5.3	9.6	4.8	2.6			1.2	3.6
小 計	27	15	9	18	73	30	102	38	63	96	83	554
	93.1	93.8	100.0	94.7	100.0	96.8	98.1	100.0	98.4	100.0	100.0	98.6
未 接 種	1	1							1			3
	3.4	6.3							1.6			0.5
不明・未提出	1			1		1	2					5
	3.4			5.3		3.2	1.9					0.9

※入学前の必須提出資料として母子健康手帳の予防接種ページの写しを求めている

〔 短期大学 〕

受診者	受診率
対象者	%

1. 受診状況

学科 \ 学年	1 年生		2 年生		合 計	
総 合 生 活 学 科	52	100.0	42	100.0	94	100.0
	52		42		94	
食 物 栄 養 学 科	24	100.0	32	100.0	56	100.0
	24		32		56	
幼 児 教 育 学 科	29	100.0	21	100.0	50	100.0
	29		21		50	
合 計	105	100.0	95	100.0	200	100.0
	105		95		200	

2. 有所見者内訳

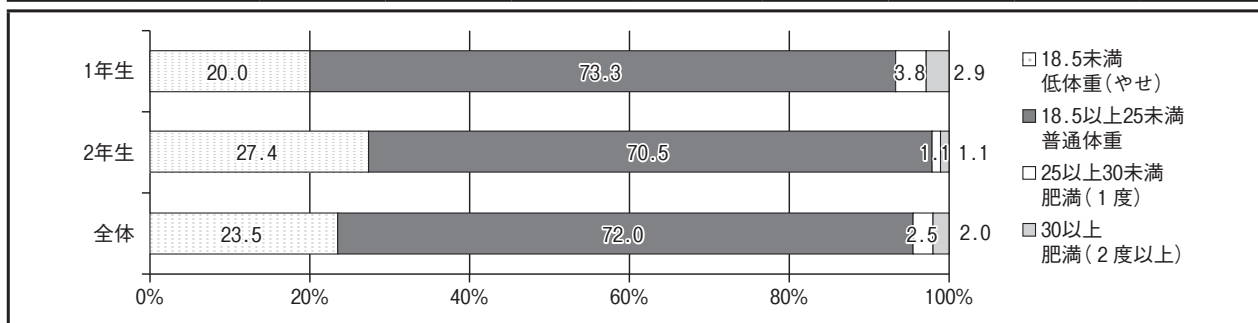
要観察・要注意

所 見	合 計	1 年生	2 年生
甲 状 腺 疾 患 ・ 疑	2	1	1
心 音 異 常 ・ 心 雑 音	2	1	1
皮 膚 病 変			
合 計	4	2	2

3. BMIによるやせと肥満

(日本肥満学会による判定)

学 年	受診者	18.5未満 低体重(やせ)		18.5以上25未満 普通体重		25以上30未満 肥満(1度)		30以上 肥満(2度以上)	
		人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)
1年生	105	21	20.0	77	73.3	4	3.8	3	2.9
2年生	95	26	27.4	67	70.5	1	1.1	1	1.1
合 計	200	47	23.5	144	72.0	5	2.5	4	2.0



4. 麻疹に関する健康調査結果(新入生)

件数
%

		総合生活 学 科	食物栄養 学 科	幼児教育 学 科	合 計
学生数		51	22	29	102
罹患・接種歴の 確認ができたもの	罹 患				
	罹患かつ 1回接種				
	2回以上 接 種	45 88.2	21 95.5	24 82.8	90 88.2
	1回接種	1 2.0	1 4.5		2 2.0
	抗体(+)	1 2.0		4 13.8	5 4.9
	小 計	47 92.2	22 100.0	28 96.6	97 95.1
	不 明	4 7.8		1 3.4	5 4.9

※入学前の必須提出資料として母子健康手帳の予防接種ページの写しを求めている

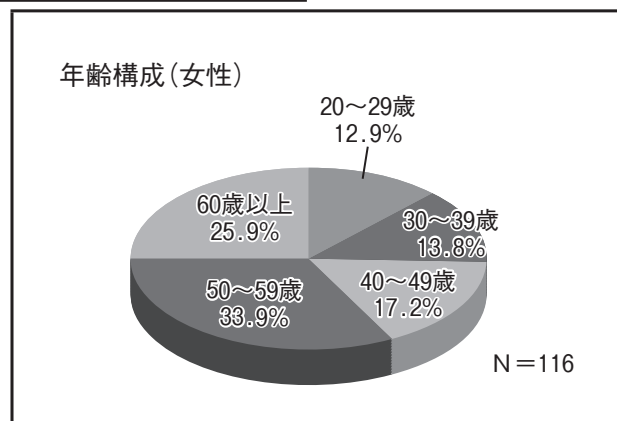
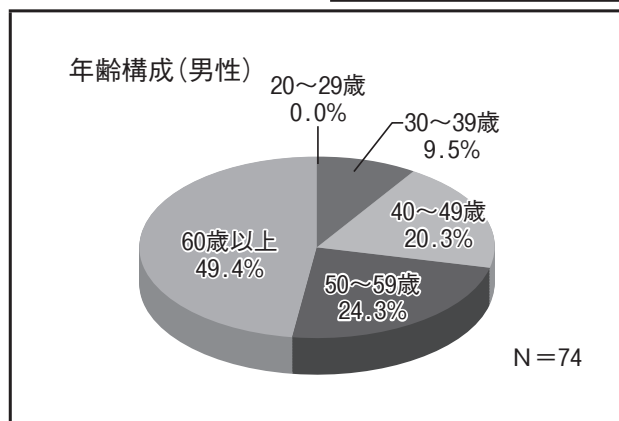
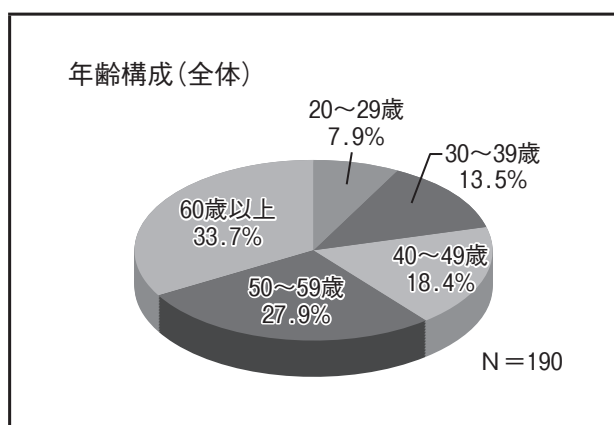
Ⅱ. 教職員健康診断

〔 須磨キャンパス 〕

1. 対象者内訳および年齢構成

	教 員	職 員(※)	合 計
男 性	48	26	74
%	25.3	13.7	38.9
女 性	60	56	116
%	31.6	29.5	61.1
合 計	108	82	190
%	56.8	43.2	100.0

(※) 附属幼稚園教職員含む

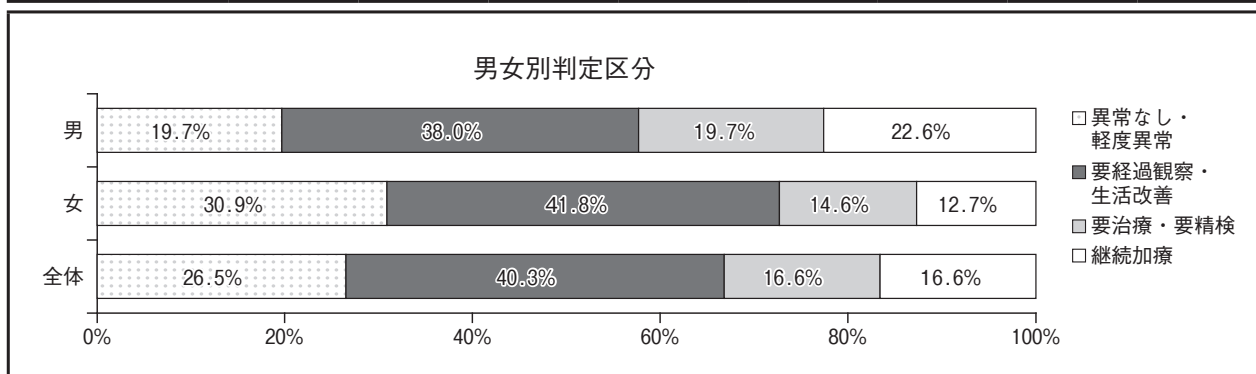


2. 受診状況

区 分	教 員	職 員	合 計	
対 象 者	108	82	190	
定期健康診断	60	59	119	62.6%
人間ドック	42	20	62	32.6%
合 計	102	79	181	95.3%

3. 男女別判定区分

区分	受診者	異常なし 軽度異常		要経過観察 生活改善		要治療 要精検		継続加療	
男	71	14	19.7%	27	38.0%	14	19.7%	16	22.6%
女	110	34	30.9%	46	41.8%	16	14.6%	14	12.7%
合計	181	48	26.5%	73	40.3%	30	16.6%	30	16.6%



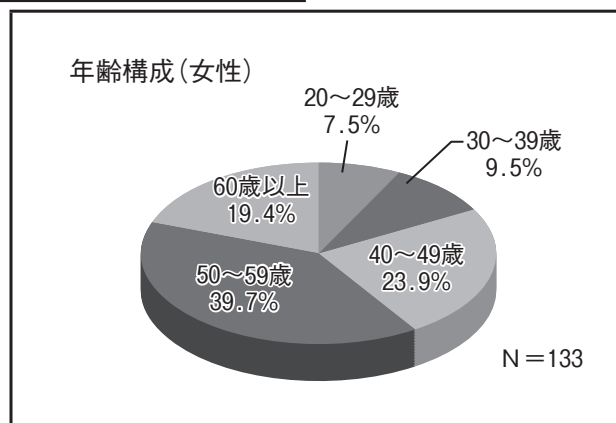
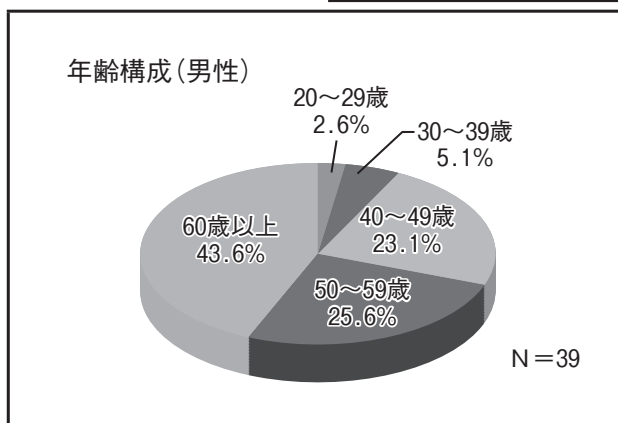
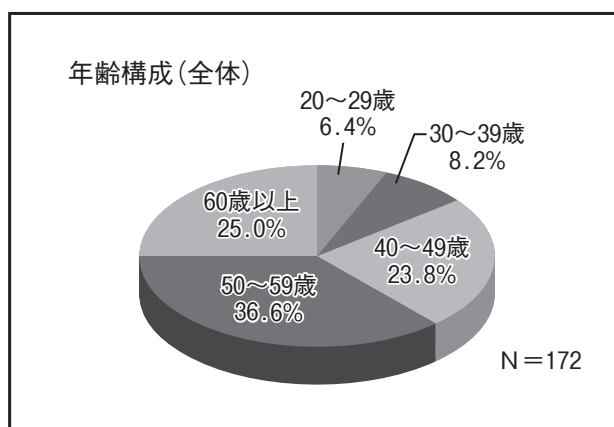
4. 検査項目別有所見者状況

検査項目	受診者	有所見者	有所見率(%)
聴力検査	181	16	8.8
胸部X線検査	179	4	2.2
血圧	181	16	8.8
貧血検査	181	22	12.2
肝機能検査	181	22	12.2
血中脂質	181	67	37.0
尿糖	180	5	2.8
尿蛋白	180	1	0.6
心電図検査	181	32	17.7
血糖検査	181	15	8.3

〔 ポートアイランドキャンパス 〕

1. 対象者内訳および年齢構成

	教 員	職 員	合 計
男 性	19	20	39
%	11.0	11.6	22.7
女 性	94	39	133
%	54.7	22.7	77.3
合 計	113	59	172
%	65.7	34.3	100.0

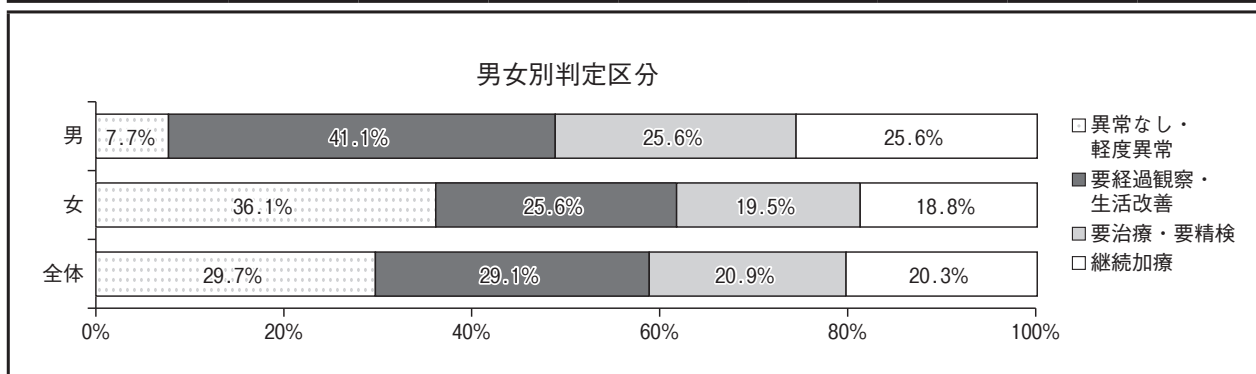


2. 受診状況

区 分	教 員	職 員	合 計	
対 象 者	113	59	172	
定期健康診断	78	31	109	63.4%
人 間 ド ッ ク	35	28	63	36.6%
合 計	113	59	172	100.0%

3. 男女別判定区分

区分	受診者	異常なし 軽度異常		要経過観察 生活改善		要治療 要精検		継続加療	
男	39	3	7.7%	16	41.1%	10	25.6%	10	25.6%
女	133	48	36.1%	34	25.6%	26	19.5%	25	18.8%
合計	172	51	29.7%	50	29.1%	36	20.9%	35	20.3%



4. 検査項目別有所見者状況

検査項目	受診者	有所見者	有所見率(%)
聴力検査	172	12	7.0
胸部X線検査	169	2	1.2
血圧	172	22	12.8
貧血検査	172	16	9.3
肝機能検査	172	25	14.5
血中脂質	172	61	35.5
尿糖	172	6	3.5
尿蛋白	172	3	1.7
心電図検査	172	18	10.5
血糖検査	172	17	9.9

Ⅲ. 特定健康診査

〔 須磨キャンパス 〕 (※)附属幼稚園教職員含む

1. 受診状況

	対 象 者	受 診 者	%	内臓脂肪 有所見者	%
男	67	65	97.0	34	52.3
女	85	71	83.5	16	22.5
合計	152	136	89.5	50	36.8

※内臓脂肪有所見者…腹囲男性85cm以上、女性90cm以上、またはBMI 25以上のもの

2. 内臓脂肪有所見者のリスク(危険因子)状況

		対 象 者		男 性		女 性	
		男性	女性	人数	%	人数	%
リ ス ク (危険因子)	①血圧(最高130以上または最低85以上)	34	16	13	38.2	8	50.0
	②血糖(血糖100以上またはHbA1c5.6以上)			20	58.8	7	43.8
	③脂質(中性脂肪150以上またはHDL40未満)			8	23.5	4	25.0
	④喫煙者			0	0.0	0	0.0

3. 内臓脂肪有所見者のリスク(危険因子)の合併状況

リ ス ク (危険因子)	対 象 者		男 性		女 性	
	男性	女性	人 数	%	人 数	%
な し	34	16	4	11.8	5	31.3
1 項 目			17	50.0	4	25.0
2 項 目			11	32.4	6	37.5
3 項 目			2	5.9	1	6.3
4 項 目			0	0.0	0	0.0

4. 内臓脂肪有所見者の特定保健指導判定(階層化レベル)

保健指導レベル	合 計		男 性		女 性	
	人 数	%	人 数	%	人 数	%
動機付け支援	10	20.0	8	16.0	2	4.0
積 極 的 支 援	8	16.0	5	10.0	3	6.0
情 報 提 供	32	64.0	21	42.0	11	22.0
合 計	50	100.0	34	68.0	16	32.0

〔 ポートアイランドキャンパス 〕

1. 受診状況

	対 象 者	受 診 者	%	内臓脂肪 有所見者	%
男	35	35	100.0	19	54.3
女	111	111	100.0	31	27.9
合計	146	146	100.0	50	34.2

※内臓脂肪有所見者…腹囲男性85cm以上、女性90cm以上、またはBMI 25以上のもの

2. 内臓脂肪有所見者のリスク(危険因子)状況

		対 象 者		男 性		女 性	
		男性	女性	人数	%	人数	%
リ ス ク (危険因子)	① 血 圧 (最高130以上または最低85以上)	19	31	9	47.4	9	29.0
	② 血 糖 (血糖100以上またはHbA1c5.6以上)			11	57.9	18	58.1
	③ 脂 質 (中性脂肪150以上またはHDL40未満)			4	21.1	5	16.1
	④ 喫煙者			2	10.5	0	0.0

3. 内臓脂肪有所見者のリスク(危険因子)の合併状況

リ ス ク (危険因子)	対 象 者		男 性		女 性	
	男性	女性	人数	%	人数	%
な し	19	31	2	10.5	9	29.0
1 項 目			10	52.6	13	41.9
2 項 目			5	26.3	7	22.6
3 項 目			2	10.5	2	6.5
4 項 目			0	0.0	0	0.0

4. 内臓脂肪有所見者の特定保健指導判定(階層化レベル)

保健指導レベル	合 計		男 性		女 性	
	人数	%	人数	%	人数	%
動機付け支援	25	50.0	11	22.0	14	28.0
積極的支援	3	6.0	2	4.0	1	2.0
情 報 提 供	22	44.0	6	12.0	16	32.0
合 計	50	100.0	19	38.0	31	62.0

IV. 特殊健康診断(学生含む)

[須磨キャンパス]

1. 有機溶剤等健康診断

健診日	9月12日	
	受診者	有所見者
教員	14	3
学生	4	0

2. 特定化学物質健康診断

教 員

取り扱い特定化学物質名	9月12日		1月16日～1月30日	
	受診者	有所見者	受診者	有所見者
ア ク リ ル ア ミ ド	1	0	0	0
ク ロ ロ ホ ル ム	5	1	5	1
マンガン及びその化合物	1	0	1	0

学 生

取り扱い特定化学物質名	9月12日		1月16日～1月30日	
	受診者	有所見者	受診者	有所見者
ア ク リ ル ア ミ ド	1	0	0	0
ク ロ ロ ホ ル ム	4	0	5	1

3. 特定業務従事者健康診断

教 員

取り扱い有害物質名	9月12日		1月16日～1月30日	
	受診者	有所見者	受診者	有所見者
ホ ル ム ア ル デ ヒ ド	1	1	1	1
塩 酸	2	0	2	0
硝 酸	2	0	2	0
硫 酸	4	0	4	0

学 生

取り扱い有害物質名	9月12日		1月16日～1月30日	
	受診者	有所見者	受診者	有所見者
ホ ル ム ア ル デ ヒ ド	3	0	3	0

4. 有害な業務に係る歯科健康診断

教 員

取り扱い有害物質名	9月12日		1月16日～1月30日	
	受診者	有所見者	受診者	有所見者
塩 酸	2	0	2	0
硝 酸	2	0	2	0
硫 酸	4	0	4	0

〔 ポートアイランドキャンパス 〕

1. 有機溶剤等健康診断

受診状況

健診日	9月11日	
	受診者	有所見者
教員	3	0

2. 特定業務従事者健康診断

教 員

取り扱い有害物質名	9月11日		1月22日～1月27日	
	受診者	有所見者	受診者	有所見者
塩 酸	3	0	2	1

3. 有害な業務に係る歯科健康診断

教 員

取り扱い有害物質名	9月11日		1月22日～1月27日	
	受診者	有所見者	受診者	有所見者
塩 酸	3	0	3	0

V. ストレスチェック

対 象 者 専任教職員 契約職員

受検期間 令和6年10月1日～10月31日

実施方法 厚生労働省版ストレスチェック実施プログラムによる、学園ポータルサイトを使用した
Web受検

実 施 者 学園産業保健スタッフ(産業医・保健師)及び精神保健相談業務を委嘱する医師

受検状況 対象者357名 受検者351名(学園全体)

VI. 医師による健康相談

〔 須磨キャンパス 〕

学医(兼産業医)による健康相談

担 当 医：須磨キャンパスと同区内の開業内科医

定例相談日：毎月第2木曜日 15：30～17：00

体 制：原則予約制

健康相談状況

	件 数
学 生	0
教 職 員	0
合 計	0

精神科医による精神保健相談

担 当 医：神戸市内に勤務する精神科医

定例相談日：毎月第4火曜日 14：30～17：00

体 制：予約制

精神保健相談状況

	件 数
学 生	16
教 職 員	1
合 計	17

〔 ポートアイランドキャンパス 〕

学医(兼産業医)による健康相談

担 当 医：ポートアイランドキャンパスと同区内の開業内科医

相 談 日：毎月第2水曜日 13：00～14：00

健康相談状況

	件 数
学 生	3
教 職 員	2
合 計	5

精神科医による精神保健相談

担 当 医：神戸市内の開業精神科医

定例相談日：毎月第4木曜日 14：00～16：30

精神保健相談状況

	件 数
学 生	3
教 職 員	3
合 計	6

VII. 保健室活動状況

〔 須磨キャンパス 〕

主訴 件数	ベ ッ ド 医 療 機 関 緊 急 受 診
----------	---

1. 主訴別学年別保健室利用状況

学年別他 主訴別		1 回生		2 回生		3 回生		4 回生		大学院生		教職員		その他		合計	
	胃 腸 症 状	2		4		10	6	2	2			1		1		20	8
	頭 痛 症 状	7	2	2	1	9	6	2	2			3				23	11
	風 邪 症 状	9	2	8	1	10	2	6	3			1	1			34	9
	気 分 不 良 倦 怠 状	39	35	20	12 1	19	14 1	8	4			3	3	1	1	90	69 2
	月 経 随 伴 症 状	3	1	4	2	4	4	1	1			2	1	1	1	15	10
	口 歯 科 症 状	1														1	
	眼 科 症 状																
	耳 鼻 科 症 状																
	皮 膚 科 症 状	2		3		2		3				3				13	
	整 形 外 科 症 状	1				1		1								3	
	そ の 他 の 症 状	30	15	1		7	3 1	3	1			6	1 1			47	20 2
小 計		94	55	42	16 1	62	35 2	26	13			19	6 1	3	2	246	127 4
傷 害	打 撲	4		2		3		2				2		1		14	
	捻 挫	2		3		3		1								9	
	突 指	1														1	
	切傷 擦過傷	7		10		4		6				3		2		32	
	刺 傷 咬 傷	1		4		4		1								10	
	く つ ず れ	3				2										5	
	熱 傷 薬 傷	2		7		5						1				15	
	そ の 他	2		1										2		5	
小 計		22		27		21		10				6		5		91	
相 談	精 神 保 健	7		1		2		1								11	
	対 人 関 係	2				2		3								7	
	精 神 の 面 そ の 他	38		14		10		18				3				83	
	計(精神面)	47		15		14		22				3				101	
	内 科																
	婦 人 科	2						1								3	
	身 体 の 面 そ の 他	125		168		162		127		13		193		12		800	
	計(身体面)	127		168		162		128		13		193		12		803	
小 計		174		183		176		150		13		196		12		904	
合 計		290	55	252	16 1	259	35 2	186	13	13		221	6 1	20	2	1,241	127 4

* 大学院(専攻科含む)

2. 保健室利用者数年次推移(令和2年度～令和6年度)

対 象	令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
学 生	1,117	1,772	2,379	1,342	1,000
教 職 員	220	242	244	299	221
そ の 他	38	28	17	16	20
合 計	1,375	2,042	2,640	1,657	1,241

3. 授業中の損傷

学 年	1 回 生			2 回 生			3 回 生			4 回 生			大学院生			合 計			参 考	
授業別 損傷別	体育 実技	実 験	調理 実習	体育 実技	実 験	調理 実習	体育 実技	実 験	調理 実習	体育 実技	実 験	調理 実習	体育 実技	実 験	調理 実習	体育 実技	実 験	調理 実習	ク ラ ブ	そ の 他
打 撲	1															1			8	
捻 挫	1			1			1									3			4	
突 指	1															1				
切傷 擦過傷			1	1	1	1		1	1			1				1	2	4	16	
刺傷 咬傷					2	1		2									4	1	3	
くつずれ																			5	
熱傷 薬傷					1	1											1	1	8	
そ の 他	1															1			1	
計	4		1	2	4	3	1	3	1			1				7	7	6		
合 計	5			9			5			1						20			45	

4. 学生教育研究災害傷害保険給付申請状況(傷害保険事故)

事 故 日	学年・学科	事 故 態 様	傷 病 名
令和5年10月3日	1 回 生 ・ 家 政 学 科	体育授業中	左膝靱帯損傷

※令和6年度中に申請をしたもの

5. 新型コロナウイルス感染症発生届出状況

月	感染者	
	学生	教職員
令和6年4月	6	1
5月	6	2
6月	13	0
7月	27	4
8月	0	1
9月	1	0
10月	5	1
11月	1	0
12月	5	0
令和7年1月	8	0
2月	0	0
3月	0	0
合計	72	9

6. インフルエンザ発生届出状況

	大学					教職員	合計	型(再掲)		
	1回生	2回生	3回生	4回生	小計			A型	B型	不明
令和6年4月		2			2		2	2		
5月					0		0			
6月					0		0			
7月				2	2		2	1	1	
8月					0		0			
9月					0		0			
10月					0		0			
11月		2	1	1	4	1	5	4		1
12月	6	10	6	3	25		25	24		1
令和7年1月	3	8	7	5	23		23	23		
2月					0		0			
3月					0		0			
合 計	9	22	14	11	56	1	57	54	1	2

〔 ポートアイランドキャンパス 〕

1. 主訴別学年別保健室利用状況

主訴 件数	ベ ッ ド
	医療機関緊急受診

学年別他 主訴別		短期大学					大 学										大学院生		教職員		その他		合計			
		1 年生		2 年生		小計	1 回生		2 回生		3 回生		4 回生		小計											
疾患	胃 腸 症 状	2	2	2	1	4	3	4	3	6	6	1	3	2	2	2	15	13			4		1		24	16
	頭 痛 症 状	1		6	4	7	4	7	3	5	3	6	4	3	2	21	12			3	1			31	17	
	風 邪 症 状	9	2	3		12	2	9	1	13	4	8		3		33	5			4				49	7	
	気 分 不 良 怠 倦	12	12	12	9	24	21	12	11	25	19	25	20	7	5	69	55			3	2			96	78	
	月 経 随 伴 状 症	2	2	2	1	4	3	6	4	14	9	3	3	7	3	30	19							34	22	
	口 腔 科 症 状																									
	眼 科 症 状			3		3		2	2							2	2							5	2	
	耳 鼻 科 症 状									2	1			3		5	1				1			6	1	
	皮 膚 科 症 状	4		7		11		8	1	6		3				17	1			4	1	1		33	1	
	整形外科症状							1					1			2								2		
	そ の 他 の 状 症	1	1			1	1	4	4			1	1			5	5			2				8	6	
小 計		31	19	35	15	66	34	53	28	71	42	49	30	26	12	199	112			20	4	3		288	150	
傷害	打 撲	4		4		8		4		3	1			1		8	1							16	1	
	捻 挫							1		10	1	2		3		16	1			1				17	1	
	突 指							3		1						4								4		
	切傷 擦過傷	15	2	4		19	2	11		9		9		4		33				6				58	2	
	刺 傷 咬 傷							3					3			6								6		
	く つ ず れ	1				1		7		4		3		3		17								18		
	熱 傷 薬 傷			3		3		4		6		8		2		20				3				26		
	そ の 他	1		2	1	3	1	3	1			1				4	1			1				8	1	
小 計		21	2	13	1	34	3	36	1	33	2	23	16		108	3			11				153	3		
相談	精 神 保 健	13	2	11	5	24	7	55	12	43	1	61	54	12	6	171	73			8				203	80	
	対 人 関 係			1		1																		1		
	精神面その他	13	1	15	1	28	2	20	2	51	1	20	3	5	1	96	7			22				146	9	
	合計(精神面)	26	3	27	6	53	9	75	14	94	2	81	57	17	7	267	80			30				350	89	
	内 科																									
	婦 人 科							1								1				1				2		
	身体面その他	151	6	66		217	6	332	1	317	1	197	1	140		986	3	15		329		14		1,561	9	
	合計(身体面)	151	6	66		217	6	333	1	317	1	197	1	140		987	3	15		330		14		1,563	9	
小 計		177	9	93	6	270	15	408	15	411	3	278	58	157	7	1,254	83	15		360		14		1,913	98	
合 計		229	28	141	21	370	49	497	44	515	47	350	88	199	19	1,561	198	15		391	4	17		2,354	251	

2. 保健室利用者数年次推移(令和2年度～令和6年度)

年度 対象	令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
短期大学生 (在籍者数)	453 (498)	773 (401)	775 (310)	487 (243)	370 (200)
大学生 (在籍者数)	776 (950)	1,482 (937)	2,410 (998)	1,487 (1,086)	1,561 (1,080)
教職員	269	324	469	452	391
その他	18	26	40	27	17
合 計	1,516	2,605	3,694	2,453	2,339

3. 授業中の損傷

年 次	短期大学									大 学									大学院生	総 計			参考						
	1 年 生			2 年 生			小 計			1 回 生			2 回 生			3 回 生								4 回 生			小 計		
授業別	体育実技	実 験	調理実習	体育実技	実 験	調理実習	体育実技	実 験	調理実習	体育実技	実 験	調理実習	体育実技	実 験	調理実習	体育実技	実 験	調理実習	体育実技	実 験	調理実習	体育実技	実 験	調理実習	体育実技	実 験	調理実習	ク ラ ブ	そ の 他
損傷別																													
打 撲				2			2			2			1									3				5			11
捻 挫										1			3			1						5				5			11
突 指										3			1									4				4			
切傷擦過傷	2		10		1		2	1	10				1		1			3		1		1	1	4		3	2	14	31
刺 傷 咬 傷																													6
く つ ず れ																													17
熱 傷 薬 傷						1			1			4												4			5		18
そ の 他				1			1			1						1						2				3			4
計	2		10	3	1	1	5	1	11	7		4	6		1	2		3		1		15	1	8		20	2	19	
合 計	12			5			17			11			7			5			1			24			41			98	

4. 学生教育研究災害傷害保険給付申請状況（傷害保険事故）

事 故 日	学 年 ・ 学 科	事 故 態 様	傷 病 名
令和5年12月20日	大学2回生・健康スポーツ栄養学科	正課中(体育実技)	左手第4指骨折
令和6年4月16日	短大1年生・食物栄養学科	正課中(調理実習)	左手第1指切傷
4月18日	大学1回生・健康スポーツ栄養学科	正課中(調理実習)	右手第2指熱傷
5月31日	大学3回生・健康スポーツ栄養学科	正課中(調理実習)	左手第2爪部切傷
6月3日	短大1年生・食物栄養学科	通学中	肩・腰など打撲 右手首捻挫
6月24日	大学1回生・健康スポーツ栄養学科	正課中(体育実技)	右膝靱帯損傷
7月10日	大学4回生・社会福祉学科	通学中	右膝打撲等
7月24日	短大2年生・幼児教育学科	正課中(体育実技)	左大腿部筋挫傷
9月30日	短大2年生・幼児教育学科	正課中(その他)	右踵部骨折
10月4日	大学1回生・健康スポーツ栄養学科	正課中(体育実技)	右半月板損傷
10月9日	短大1年生・総合生活学科	正課中(体育実技)	左手掌部皮下出血
12月16日	大学1回生・健康スポーツ栄養学科	正課中(体育実技)	右足首捻挫

※令和6年度中に申請をしたもの

5. 新型コロナウイルス感染症発生届出状況

月	感染者		
	短期大学生	大学生	教職員
令和5年4月	3	4	0
5月	1	4	0
6月	3	11	0
7月	2	24	2
8月	0	3	5
9月	0	1	2
10月	0	2	2
11月	0	3	0
12月	1	3	0
令和6年1月	0	7	0
2月	0	0	2
3月	0	0	0
合 計	10	62	13

6. インフルエンザ発生届出状況

	短期大学			大学					教職員	合計	型(再掲)		
	1年生	2年生	小計	1回生	2回生	3回生	4回生	小計			A型	B型	不明
令和5年4月	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2	1	1	
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1		
11月	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2	2		
12月	5	4	9	10	9	5	0	24	2	35	35		
令和6年1月	6	1	7	2	7	6	2	17	1	25	23		2
合 計	11	5	16	12	18	13	2	45	4	65	62	1	2

【須磨キャンパス保健室活動のまとめ】

○学生の健康管理について

学生健康診断は、4月のオリエンテーション期間中に3日間で実施した。

日程・受診内容については、KISS配信・掲示・オリエンテーション等により受診の周知を徹底した。受診率は95.5%と前年度（94.1%）より上昇した。学内健診未受診者に対して、再度の周知・受診勧奨を複数回行ったことで受診率がやや向上したと考えられる。

有所見者は19名であった。甲状腺疾患の疑いが6名と多く、次いで心音異常・心雑音が5名となっていた。有所見者に対しては、個別面談を行い、学医健康相談や専門医療機関を紹介した。

オリエンテーション時には、学生生活における健康管理の注意点（食事・運動・睡眠の重要性や熱中症予防・月経痛への対応・感染症予防等）について説明動画を作成し、入学者全員に説明するようにしている。

また、入学時の健康調査により、心身の問題で学生生活への配慮と支援が必要とされる学生には、個別面談を実施した。学生が継続的に相談しやすいように担任や学科担当教員・関係部署につなぐなど、学内で連携を取りながら対応している。

新入生における麻しんワクチンの2回以上接種率は91.1%と前年度に比べてやや低い傾向であった。未接種及び1回のみ接種の学生に連絡し、面接や電話にて接種状況の確認や接種勧奨を行った。

○教職員の健康管理について

教職員健康診断の受診率は、95.3%（前年度：96.0%）であった。有所見率は、73.5%となっており、検査項目別に有所見率が最も高いのは、血中脂質、次いで貧血検査・肝機能検査の順であった。

有所見率は男性80.2%、女性69.1%、全体で73.5%となっており、前年度の71.2%よりやや上昇している。

ストレスチェックの受検率は、98.3%（前年度：95.6%）とやや上昇した。回答システムが変更となったことや、再勧奨の回数を増やしたことにより、受検率が上がったと考えられる。高ストレス該当者のうち、医師による面接指導の利用を希望する者はいなかった。今後は、セルフケアに取り組むための支援（研修会の開催等）を行ったり、ラインケアについてもさらに充実させていく必要があると考えられる。

○保健室利用状況について

利用件数は、1241件であった。主訴別では、身体面その他の相談件数が最も多かった。学生では感染症による出席停止や、受診した方が良いかどうか等に関する相談が多かった。教職員では、健康診断後に必要となった受診状況の確認や感染症症状に対する対応の相談が多かった。

学生では、精神面その他に関する主訴も多くなっている。気分不良や倦怠により休養のために保健室を利用した際、合わせて精神面のしんどさを聞くことも多い。学生相談室や学生支援センター、担任等と連携を取りながら支援している。

新型コロナウイルス感染症届出数は、学生・教職員の合計で81名（前年度：159名）インフルエンザ届出数は、学生・教職員の合計で57名（前年度：145名）いずれも地域の流行状況に伴って、前年度から大幅に減少した。今後も感染症予防のための啓発や相談等の支援を継続していく。

【ポートアイランドキャンパス保健室活動のまとめ】

○学生の健康管理について

学生健康診断は、4月のオリエンテーション期間に3日間実施した。特に日程・受診内容の周知については、KISS配信・掲示・ホームルーム等を活用して実施した。受診率は大学（健康福祉学部・看護学部・心理学部）全体で99.4%、短期大学は100%と前年度（大学99.4%、短期大学98.4%）とほぼ同様であった。有所見者は大学31名、短期大学4名であった。内容は、甲状腺疾患に関すること13名、心雑音心音異常8名、不整脈1名、皮膚病変3名、貧血症状1名などであった。有所見者に対しては、個別面談（健康相談）を行い、学医健康相談や専門医療機関を紹介した。BMIによるやせと肥満の状況を見ると、大学・短大共に新生にやせの割合が高くなっていた。BMI15以下の学生2名については呼び出し面談を実施している。

入学時の健康調査により、心身の問題で学生生活への配慮と支援が必要とされる学生には、個別面談を実施し、クラス担任・学科担当教員・関係部署と連携をとり対応した。

新生における麻しんワクチンの2回以上接種率は、大学98.9% 短期大学88.2%と例年並みであった。未接種及び1回のみ接種の学生全員と面談し、ワクチン接種を受けるよう積極的に働きかけた。

新型コロナウイルス感染症届出数は、大学生62名 短期大学生10名と前年度（大学生81名 短期大学生21名）の約7割ほどであった。インフルエンザ発症届出状況においては、大学生45名 短期大学生16名と前年度（大学生97名 短期大学生22名）の約半数ほどであった。様々な感染症に関する予防の啓発、健康相談、出席停止に関すること等きめ細かな支援を継続的に実施した。

○教職員の健康管理について

教職員健康診断の受診率は前年と同様に100%であった。年齢構成は40歳以上が85.4%、有所見率は男性92.3%、女性63.9%、全体では70.3%で前年度全体67.3%より高かった。検査項目別に有所見率が最も高いのは、血中脂質35.5%と前年までと同様であった。

ストレスチェックは、受検率が98.8%と前年度99.4%とほぼ同様だった。高ストレス該当者のうち、医師による面接指導の利用希望者は1名であった。ストレスチェックの継続的な実施及び積極的な受検勧奨により、労働者のメンタルヘルス・セルフケアへの理解が深まり、自身の体調管理に努めようという意識の変化を感じる。今後は更にラインケアを充実させて、様々な機会をとらえて啓発や研修をしていかなければならない。集団分析結果の資料については、前年比、事業所全体との比較、全国平均との比較を一覧にして経年的変化と健康リスクの解釈、留意内容を具体的に記載した。ストレスチェック制度の目的である「労働者のメンタルヘルス不調となることを未然に防止する」ための職場環境改善の資料となるように活用を図らなければならない。

○保健室利用状況について

利用件数は、2354件であった。主訴別に見てみると、身体面その他の相談件数が1561件（全体の66.3%）と最も多かった。学生健康診断の事後フォロー、感染症に関する相談・支援、教職員健康診断の事後フォロー等の内容であった。

次に多かったのは精神面その他に関する主訴であった。治療やメンタルケアを受けながら学業に励む学生への支援の割合は増加傾向にある。学生の抱える心身の課題に迅速かつ適切に対応できるよう、関係部署をはじめ、学生相談室や学生支援センターと連携を取りながら対応に努めた。

VIII. 学生相談室利用状況

学生相談室長 前 田 研 史
専門相談員 吉 田 幸 世

本学の学生相談室は、須磨キャンパスとポートアイランドキャンパスにそれぞれ分室（須磨分室・ポーアイ分室）として設置されている。須磨キャンパスには家政学部と文学部がある。ポートアイランドキャンパスには、健康福祉学部と看護学部があり、2022年度には心理学部が開設され、3回生までが在籍している。ポーアイ分室は短期大学との共同運用である。開室時間は、いずれも月曜から金曜まで（10時から18時まで）の週5日である。須磨分室の水曜日の開室時間は非常勤相談員の勤務の都合により午前10時から15時までである。

なお、2024年度4月より学生支援センターが両キャンパスに設置され、学生相談と学生支援の両方のサービスを受けている学生については、学生の了承のもと、適宜連携を図ることになった。

学生相談室利用状況

須磨分室利用状況については、昨年度より若干減少（表1）。在籍中に初めて来室した学生の実数は同じ（表2）。学年別にみた利用状況では、文学部1回生の面接回数が多い（表3）。

ポーアイ分室利用状況については、大学は昨年度より半減（表4）。在籍中にはじめて来室した学生の実数は昨年度より2.7倍増加（表5）。学年別にみた利用状況では、心理学部の1、2回生の面接回数が多い。（表6）。

短期大学の利用状況については、昨年度とほぼ同じ（表7、表8、表9）。

ポーアイ分室においては、大学は初めて来室した学生の実数が増加しており、より多くの学生の利用があった一方、面接回数は減少していたことから、短期的に利用する学生が増えていることが推察される。

須磨分室・PI分室とも相談内容の全体的傾向については、心理的な問題を抱えた学生が多く利用している（表1、表4、表7）。心理相談の分類は、主訴が複数あっても心理的問題が根底にある場合、心理相談に分類しているため来室者の大半がこの分類に含まれる。

相談内容は、授業や課題などの学業に不安を抱えている学生や精神的なもので体調不良が続いている学生などからの相談がある。大学入学以前からすでに精神的な問題を持ち続けている学生、家庭の問題を持つ学生など、抱えている問題はさまざまであり、ひとりひとりの学生に対してより丁寧できめ細やかな対応が必要である。

学生相談室のみでは支援が難しい場合には、学内の定例精神保健相談で嘱託精神科医に面談してもらうこともある。学生の所属する学部の担当教員や保健室など関係各部署と情報共有することで、それぞれの専門分野を生かして対応し、学生が大学生活が続けられるような支援をしていくことも大切である。学生相談室は、今後も学内のあらゆる部署とつながりを持って学生生活をサポートしていく必要があると考えている。

令和6年度 文学部・家政学部統計（須磨分室）

表1：相談内容別延べ面接回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心 理	13	21	17	9	1	3	15	16	20	9	4	2	130
学 業	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
進 路	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
生 活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	16	21	17	10	1	4	15	16	20	9	4	2	135

表2：初回面接人数（在籍中に初めて来室した人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1 回 生	4	3	1	1	0	1	2	1	1	0	0	0	14
2 回 生	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	5
3 回 生	1	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	5
4 回 生	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
大学院生	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	6	6	2	2	1	1	4	2	3	0	0	0	27

表3：学年・学部別相談延べ面接回数

	文学部	家政学部	大学院	合計
1 回 生	55	14	0	69
2 回 生	8	10	1	19
3 回 生	29	3		32
4 回 生	9	4		13
そ の 他	0	2	0	2
合 計	101	33	1	135

令和6年度 健康福祉学部・看護学部・心理学部統計（ポアイ分室）

表4：相談内容別延べ面接回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心 理	8	9	10	6	0	2	9	7	7	0	0	0	58
学 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
進 路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生 活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	9	9	10	6	0	2	9	7	7	0	0	0	59

表5：初回面接人数（在籍中に初めて来室した人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1 回 生	5	2	1	2	0	0	3	0	1	0	0	0	14
2 回 生	1	2	3	0	0	0	1	0	3	0	0	0	10
3 回 生	2	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	5
4 回 生	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
大学院生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	9	5	4	2	0	1	5	0	4	0	0	0	30

表6：学年・学部別相談延べ面接回数

	健康福祉学部	看護学部	心理学部	大学院	合計
1 回 生	6	7	12	0	25
2 回 生	1	2	12	0	15
3 回 生	2	1	8		11
4 回 生	1	7	0		8
その他	0	0	0	0	0
合 計	10	17	32	0	59

令和6年度 短期大学統計（ポーアイ分室）

表7：相談内容別延べ面接回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心 理	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4
学 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
進 路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生 活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4

表8：初回面接人数（在籍中に初めて来室した人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1 年	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
2 年	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4

表9：学年・学科別相談延べ面接回数

	総合生活	食物栄養	幼児教育	合計
1 回 生	1	0	1	2
2 回 生	1	1	0	2
そ の 他	0	0	0	0
合計	2	1	1	4

神戸女子大学・神戸女子短期大学保健管理委員会規程

(目 的)

第1条 学生の健康管理と保健衛生に関する重要事項を審議し、保健管理業務の方針を決定することを目的として、神戸女子大学・神戸女子短期大学保健管理委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(組 織)

第2条 須磨キャンパス及びポートアイランドキャンパスそれぞれに委員会を置く。各委員会は、学医、学生部長または学生部次長、関係教員並びに学生課職員、保健室職員若干名で構成し、委員は学長が委嘱する。

(委員長)

第3条 各委員会に委員長を置き、委員長は、学長が委嘱する。

2 委員長は、委員会を統括する。

(任 期)

第4条 委員長及び委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員会の開催)

第5条 委員会は、毎年2回開催する。ただし、委員長が認めた時は、臨時に委員会を開催することができる。

(議事)

第6条 委員会は委員長が招集し、議長は委員長がこれに当たる。

2 委員会は、必要に応じて委員以外の出席を求め、意見を聞くことができる。

(審議事項)

第7条 委員会は、第1条の目的達成のため、次の事項を審議する。

- (1) 健康診断及び健康管理に関する事項
- (2) 保健衛生に関する事項
- (3) 保健管理年報の発行に関する事項
- (4) その他必要な事項

(守秘義務)

第8条 委員は、委員会で知り得た個人情報を漏洩してはならない。

(事務の所管)

第9条 委員会の事務は、保健室が取り扱う。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は、委員会及び部局長等会議の意見を聴き学長が行う。ただし、学長は、改廃に当たり教授会の意見を聴くことができる。

附 則

1 この規程は、令和2年4月1日から施行する。

2 この規程の施行に伴い、神戸女子大学保健管理委員会規程及び神戸女子短期大学保健管理委員会規程は廃止する。

附 則

この規程は、令和7年5月15日から施行し、令和7年4月1日から適用する。

須磨キャンパス 令和6年度保健管理委員会

7月11日（木）開催

- 報告事項 (1)学生健康診断実施状況について
(2)学生相談室における相談の状況について
(3)感染症発生状況について
- 協議事項 (1)その他学生の健康課題について
・障がいのある学生等の支援について
(2)保健室における学生の状況について

2月13日（木）開催

- 報告事項 (1)学生健康診断について
(2)学生相談室における相談状況について
(3)感染症発生状況について
(4)保健管理年報第36号（令和5年度）について
- 協議事項 (1)その他学生の健康課題について
(2)保健室における学生の状況について

ポートアイランドキャンパス 令和6年度保健管理委員会

7月17日（水）開催

- 報告事項 (1)学生健康診断の実施状況について
(2)感染症発生状況について
(3)学生相談室における相談状況について
- 協議事項 (1)その他学生の健康課題について

3月6日（木）開催

- 報告事項 (1)令和5年度保健管理年報第36号について
(2)感染症発生状況について
(3)学生相談室における相談状況について
(4)令和7年度学生健康診断の実施について
- 協議事項 (1)その他学生の健康課題について
・精神の不調を訴える学生の対応について

神戸女子大学・神戸女子短期大学は
自立心・対話力・創造性
を培う教育を目指しています

神戸女子大学・神戸女子短期大学は、建学の精神に基づき、自立心に富み、対話力と創造性にすぐれ、人類社会の発展に貢献する女性を育成しています。

保 健 管 理 年 報

第 37 号

(令和 6 年度)

令和 7 年11月発行

編集発行 **神戸女子大学・神戸女子短期大学**

須磨キャンパス保健室

〒654-8585 神戸市須磨区東須磨青山 2 の 1

ポートアイランドキャンパス保健室

〒650-0046 神戸市中央区港島中町 4 の 7 の 2